

W3CのContent Label インキュベーターグループ活動報告

2006年11月1日

財団法人インターネット協会

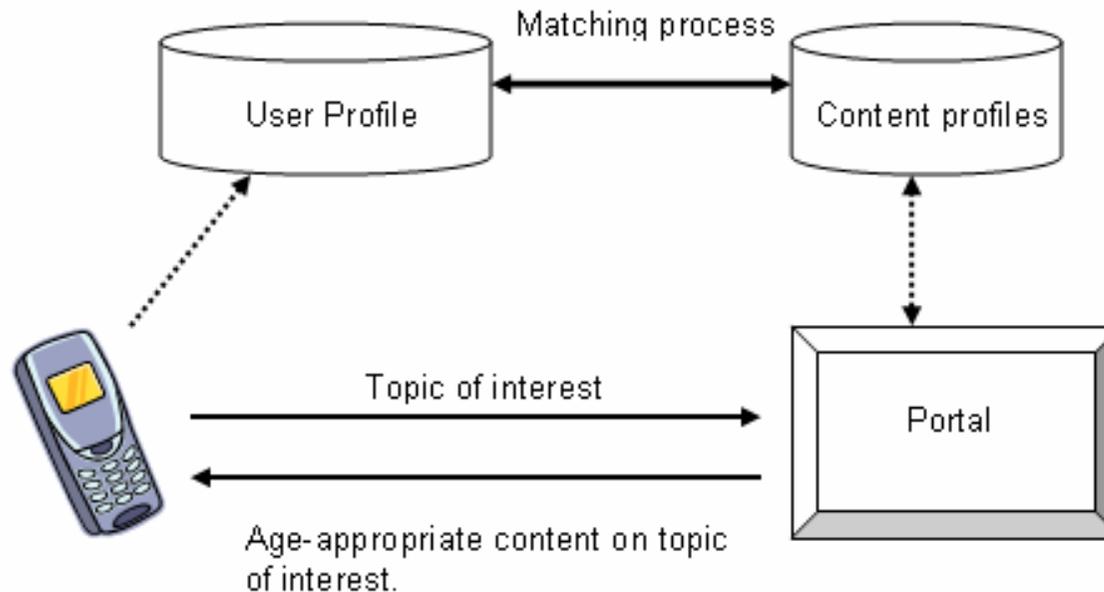
W3Cのインキュベータ・アクティビティとは

- 国際的なWeb技術標準化団体であるW3C (World Wide Web Consortium) が2006年2月から開始した新たな活動領域。
- W3Cでの標準化がまだ進んでいない新しいテーマに関する議論をサポートするための活動。
- Incubator Activityでは、通常のWorking Group (標準仕様策定を行うGroup)での活動とは異なり、3会員企業以上の要求で容易にIncubator Group (XG)を立ち上げることができる。
- ただし、XGの期限は1年間であり、それ以内にXG Report (報告書)を作成しないとイケない。
- XGで議論された技術が有用であり、標準仕様策定を行う価値があるとW3Cにて判断された場合は、スムーズにWorking Groupに移行する可能性がある。

Content Labelインキュベータグループ

- Incubator Activityの最初の活動として、Content Label Incubator Group (XG) が2006年2月に立ち上がった。活動期限は2007年2月まで。
 - 目的は、Webコンテンツをはじめとする各種のコンテンツを記述するメタデータ「Content Label」のフォーマットを定義すること。
 - 議長はInternet Content Rating Association (ICRA) のPhil Archer。メンバーはインターネット協会、ICRA、英Vodafone、ATT、Opera、AOL、T-Online、CDT、Segalaなど。
 - 同XGでは既にユースケース及び要件 (requirement) の作成を行った。また、2006年8月にはXG Reportのドラフトを作成している。
 - ユースケースについては、インターネット協会からも1件提出済み。
- Content Labelのフォーマットの国際標準化の動きに備えて、SafetyOnline3に基づくラベルは、上記のフォーマットとの整合性を取ることが必要

ユースケースの1例(子どもの保護)



出典：
W3Cサイトより

- 1. エンドユーザーは、ポータルを訪問する
- 2. ポータルサイト所有のDB等への照会により、エンドユーザーのユーザープロフィールが引き出される
- 3. エンドユーザーは、関心のあるトピックを検索する
- 4. ポータルサイトは、エンドユーザーの年齢と、コンテンツプロバイダによって提供されたコンテンツプロフィールとを照合する
- 5. ポータルサイトは、検索されたトピックに合った検索結果を提供する
- 6. ポータルサイトは、コンテンツに埋め込まれたメタデータとユーザーの年齢とに基づき、自社の規則等に従って検索結果をフィルタリングする